

普及活動情勢報告（令和3年8月分）

高吾農業改良普及所

スマート農業の実証が始まりました！！



佐川町スマート農業推進協議会が、7月28日に梨の実証園地で自動除草機「オートモア435X」と農業用無人車「R150」の現地実演会を行いました。管内農家8名を含め、各メーカー、県内関係機関から37名の参加がありました。

実演会では、メーカーから機器についての説明や走行、薬剤散布の実演が行われました。普及所からは、佐川町でのスマート農業への取組について説明を行いました。参加者からは、10a当たりの処理能力や使用の条件等について多くの質問がありました。

普及所は、今後もスマート農業機器を活用した農作業の省力化技術の確立・普及を支援していきます。

「（農）トピアとかの」の総会が開催されました。



7月20日、「集落営農法人トピアとかの」の総会が開催され、関係機関を含めて22名の出席がありました。「（農）トピアとかの」は、佐川町斗賀野地区で飼料用米栽培に取り組んでいます。栽培面積は、令和2年度の5.5haから3年度には9.6haに増加しており、地域の耕作放棄地発生を防ぐため、今後も面積の増加が見込まれます。総会では、草刈りの非熟練者への安全指導の要望がありました。

普及所は、今後もほ場巡回による技術指導や作業安全講習等を通じて、地域の農地を守る取り組みを支援していきます。

次作に向けて経営状況を振り返る！ ～経営面談を実施～



普及所とJAが合同でJA高知県佐川支所苺部会農家全14戸を対象に個別の経営面談を8月に行いました。

面談では前作の振り返りと次作に向けた作業スケジュールの確認や病虫害の発生状況の確認を行いました。ある農家からは、「ハダニの防除不足が反省点だった」といった声が出たので、農薬のかけムラを無くすために摘葉を行い、ハダニが発生しにくい環境づくりを行うことをアドバイスしました。

普及所は、引き続きJA営農指導員と協力し、個別巡回による技術指導を通じてイチゴの安定生産を支援していきます。

促成高糖度トマトの定植が始まりました。



JA高知県日高支所ハウス園芸部では促成高糖度トマト「シュガートマト」を栽培する20戸の定植が始まりました。普及所ではJAとともに早朝の個別巡回指導を実施し、生育ステージに応じた最適なかん水管理・肥培管理ができるよう、生育診断をしながら指導を行っています。

農家からは「水切りのタイミングはどうか」、「長雨後の日差しで焼かないように注意するにはどういった対策をとればいいのか」などの意見がありました。

定植後1か月の栽培管理は高糖度トマトの品質に大きく影響するため、普及所では引き続き個別巡回指導を行い高糖度トマトの安定生産を支援していきます。

「秋葉まつりの里 未来会議」が茶畑オーナー制度の検討をしました。



8月19日、仁淀川町別枝上多目的公民館で「秋葉まつりの里 未来会議」メンバーと関係機関18名が参加し検討会を実施しました。

「未来会議」では、茶畑を守る仕組みの一つとして茶畑オーナー制度に取り組むことになっており、その内容を検討しました。普及所は他県の先進事例紹介や開催支援を行いました。

他県の取組事例を参考に、「オーナー制度で集落の活性化につなげたい。」「未来会議のメンバーがオーナーを指名していく方法もある。」等、様々な意見が出されました。今後は具体的な行動計画を作成していくことになりました。

普及所は今後も茶畑を守る取り組みを支援していきます。

